

夏休みの

詩と作文コンクール

夏休みの生活をふり返って、

詩や作文を書いて送ってください。

★募集作品 詩と作文

- ・題材 夏休みの生活から生まれたもので、題は自由
- ・文字数 作文：原稿用紙3～5枚程度（四〇〇字原稿用紙）

詩 …… 30行程度

★しめきり 9月10日（木）

★審査 岐阜県小中学校長会で審査します。

★表彰 入賞者（特選・佳作・入選）に賞状をおくります。

★送り先 〒500-8816 岐阜市菅原町三（岐阜県校長会館）

「夏休みの詩と作文コンクール」係

応募の注意

- ① 作品は自作、直筆（コピー不可）のもので、今までに発表していないもの。
 - ② 応募は、1部門1人1点とする。
 - ③ 作品には、部門・題名・学年・氏名（漢字にはふり仮名をつける）・郡市名・学校名と先生の名前を書くこと。
 - ④ 作品は、返却しません。
 - ⑤ 応募作品の著作権は、岐阜県小中学校長会に帰属します。
 - ⑥ 特選・佳作作品は、作品集『ぎふの子』としてまとめます。
- 入賞作品は、岐阜県校長会館発行の出版物で紹介することもあります。
- 募集要項に合っていない作品は、選外になることがあります。

あなたも
書いて
送ってね。



ともだち 友達の作品

ねん土こねこね

各務原市 蘇原第二小学校 奥宮 健斗

今日は、夏の講座「親子でこねこね」の日
はくの席には、にぎりこぶし3コ分のねん土
このねん土で、どんな器を作ろうか
マグカップにしようか
かざりもつけようか
どんな色にしようか
大きさはどうしようか

はくはまず、底の大きさを決めた
手のひらと同じ大きさ、形は丸
次にねん土を、はくの親指くらいの太さに
のばして、底のねん土の上にのせた
そしてすき間をうめるようにのばした
重ねて、重ねて
だんだん口が広がって、崩かい寸前
先生がふつつつつと両手で回すと
あつという間に直つていった
すごい

口の部分を、道具を使って切ってみた
先生に手伝ってもらって、ぐるっと一周
ちよつとへこんだところも、ぼくらしさ
最後に全体を整えて
はくの茶わんのできあがり
八月十九日
焼き上がる日が楽しみだ